高岡市立伏木中学校

具体的な達成目標

(生徒の自己評価による)

○意欲をもって学習に取り組む

・授業の心構え三箇条を実践し、主体的に授業に臨んでいる 90%以上 90%以上 授業がよく分かる ・自分の考えを表現できる

Oよりよい校風づくり、人間関係づくりを実践する ・元気な声で挨拶している

大きな声で歌っている

・活動の意義を考え、積極的に生徒会活動に取り組んでいる

90%以上

90%以上 90%以上

90%以上

前 年 度

行 動 Ι

中 間 評 価

行 動 П

年 度 末 評 価

昨年度末の生徒の自己評価によると、家庭学習については、ほぼ毎日取り組む生徒が70%を 超えるようになってきた。学習習慣の定着と学習規律の向上及び共に高め合う関係づくりを通し て学力向上を図る。

よりよい校風づくりについては、生徒会やPTAの活動と連係を図り、挨拶運動の取組により 元気な挨拶が見られるものの80%を超えない学年がある。また、ボランティア活動への取組においても生徒会の積極性の差によっては参加率が低くなることもある。全生徒が関わることがで きるようによりよい人間関係づくりを通して、活動のねらいや意義を踏まえて積極的に取り組む 生徒の育成を目指す。

学力の向上

①個に応じた学習指導の工夫

- ・「授業の心構え三箇条」の徹底を図る。・ねらいを明確にした授業を構想し、互い に学び、共に高め合う場を授業の中に設 定する。

②家庭学習の推進

- 学習の成果を振り返る活動を生かし、家 庭学習と関連付ける取組を工夫する
- ・保護者との連携協力を図り、学習習慣の 定着を図る。

よりよい校風づくり

- ①元気な挨拶、大きな歌声
 - ・自ら律し、 他を思いやり、愛校心や学 校への所属感を深める
- ②よりよい人間関係づくり
- ・生徒指導の機能を生かした授業の充実 を図り、学び合いを支える人間関係づ くりの醸成に努める。





- ・学校評価(学校教育診断票)から該当する評価項目を選び評価する。
- ・生徒の自己評価を実施し、教師と生徒の意識の差を比較し行動Ⅱへと発展させる。 ・学校評価、生徒の自己評価から後期の行動目標の修正と数値目標を設定する。
- 【評価の公開】学校だよりで保護者に示す。学校評議員会で結果を示す。

【評価結果の分析I】

学力の向上

③分かる授業の実践と言語活動の充実

- 発問や板書の工夫、ICTの効果的な活用等 により、分かる授業を実践し、学ぶ意欲 を高め、確かな学力の育成に努める。
- ・「聞く、書く、話す、話し合う」等、目的に応じた言語活動の充実に努める。

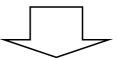
よりよい校風づくり ③部活動、生徒会活動の充実

- ・時間を有効に使い、活動の意義を踏ま えて部活動等の自主活動に積極的に取 り組む。
- ボランティア活動を生徒会の柱として 位置づけて活性化を図る。



- ・学校評価(学校教育診断票)から該当する評価項目を選び中間評価と比較する。
- ・生徒の自己評価を実施し、教師と生徒の意識の差を中間評価と比較する。

【評価結果の分析Ⅱ】 次年度に向けてのアクションプランの作成・



・学校評価、生徒の自己評価などから次年度の重点目標と数値目標を設定する。

次 年 度